学校番号	3005

令和２年度　工業科（工学系）

教科	工業	科目	建築・ｸﾞﾗﾌｨｯｸﾃﾞｻﾞｲﾝ系実習	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	プリント						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

建築・グラフィックデザイン実習は、単に機器、装置の操作技術や、職業的技能を身に付けるだけではなく、安全衛生（５Ｓや報連相など）、技術者としての倫理観、環境及びエネルギーへの配慮について総合的に理解し、産業界を支える人材となることが目標です。また、単に与えられた問題や課題を手順に沿って学ぶだけのものではありません。それらで得た技術や知識を活かし、自らが問題や課題を見つけだし、自分なりに答えを求め考えようとする意欲や姿勢を身に着けることに主眼を置いています。
建築・グラフィックデザインについて総合的に理解し、製図や専門に関する座学で学んだことを活用し、それぞれのパートで学習の効果を高めるよう工夫しましょう。

２ 学習の到達目標

建築・グラフィックデザインに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、現代社会における工業の意義や役割を理解させるとともに、社会環境及びエネルギーに配慮しつつ、工業技術の諸問題を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって解決し、工業と社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。また、表現方法及び知的財産権等に配慮しつつ、さまざまな角度から物事を捉える姿勢を身に着け、主体的に新しい価値観の創造と提案をおこない、社会の発展や改善を図ることのできる能力と実践的な態度を育てる。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	建築・ｸﾞﾗﾌｨｯｸﾃﾞｻﾞｲﾝに関する課題について関心をもち、その改善・向上をめざして主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。	建築・ｸﾞﾗﾌｨｯｸﾃﾞｻﾞｲﾝに関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	建築・ｸﾞﾗﾌｨｯｸﾃﾞｻﾞｲﾝに関する基礎的・基本的な技術を身に付け、環境に配慮し、ものづくりを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	建築・ｸﾞﾗﾌｨｯｸﾃﾞｻﾞｲﾝに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、現代社会における工業の意義や役割を理解している。
評価方法	学習状況の観察 製作品 レポート 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 製作品 レポート 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 製作品 レポート 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 製作品 レポート 自己評価・相互評価等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期・後期	建築・グラフィックデザイン実習	・建築設計 ・建築モデル製作	○ ○	○ ○	 ○	○ ○	a： 課題について関心をもち、その改善・向上をめざして主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。 b ： 課題の解決をめざして思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。 c： 基礎的・基本的な技術を身に付け、環境に配慮し、ものづくりを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。 d： 基礎的・基本的な知識を身に付け、現代社会における工業の意義や役割を理解している。	学習状況の観察 製作品 レポート 自己評価・相互評価 等
		・HTML,CSS,JavaScript の基本 ・デジタルコンテンツの利用 ・プレゼンテーションボードの作製	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ 	○ ○ ○	a： 課題について関心をもち、その改善・向上をめざして主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。 b： 具体的なテーマに基づいたホームページをデザインし、ソースを一から作成する方法やデザインテンプレートを変更する方法によって作成することができる。 c ： ネットワーク環境、通信手段、ホームページについての概要を理解し、ホームページで表現される内容について適切なデザインの選択や設定が行える。 d ： ホームページを記述する言語 HTML、CSS、JavaScript について、その文法や活用方法を理解している。	学習状況の観察 製作品 レポート 自己評価・相互評価 等

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:技能 d:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。◎は、その中でも特に重点的に評価を行う観点である。